

障害者の暮らし支え30年

南幌めぐみ学園が記念式典



創立30周年記念式典であいさつする佐藤理事長

【南幌】「障がい者支援施設 南幌めぐみ学園」(栗林和史施設長)の創立30周年記念式典が20日、同園ホールで開かれた。福祉関係者や利用者約170人が節目を祝った。

1988年4月に開園し、障害者の生活支援や作業支援を行う。現在、通所と入所合わせて63人が利用している。

式典では学園を運営する社会福祉法人南幌苑の佐藤健勝理事長が沿革を説明し、「施設の開放を積極的に行い、地域の方々の理解を得ていきたい」とあいさつ。施設運営や障害者雇用などに協力したとして、2個人

・6団体に感謝状を贈った。式典に先立ち、30周年記念として10月に園の南側に整備された地域生活支援センター「かよえくる」と「わんたフルCAFE MEGUMI」の内覧会も行われた。

(岡田典子)